

Morningstar Analysis Report of The Fund



ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド

『愛称：ポジティブ・チェンジ』

追加型投信／内外／株式



Morningstar Award “Fund of the Year 2020” ESG型 部門 優秀ファンド賞 受賞

評価基準日：2020年12月31日 ESG型 部門(対象ファンド：129本)
モーニングスター・類似ファンド分類：国際株式・グローバル・含む日本(F) ベンチマーク：なし

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。ESG型 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド129本の中から選考されました。

※モーニングスター・類似ファンド分類の「(F)」は為替ヘッジなしを指す。

※当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。



優秀ファンド賞

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド

『愛称：ポジティブ・チェンジ』

評価基準日：2020年12月31日 ESG型 部門(対象ファンド：129本)

モーニングスター・類似ファンド分類：国際株式・グローバル・含む日本(F) ベンチマーク：なし

※モーニングスター・類似ファンド分類の「(F)」は為替ヘッジなしを指す。

投資方針

当ファンドは、日本を含めた世界の株式等の中から、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式に選別投資を行うアクティブファンドである。銘柄選定にあたっては、ESGの投資手法の一つで、社会的利益と経済的利益の双方の獲得を目指すインパクト投資と、成長株への長期投資を組み合わせる「ポジティブ・チェンジ戦略」を採用する。MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)を参考指数とする。投資先ファンドの運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド(以下、ベイリー・ギフォード)が行う。年1回(6月25日)決算。

市場動向および資金動向等により、上記のような運用ができない場合があります。

選定ポイント

2020年は運用の効率性とリターンがESG型でトップ、グローバル株式内でもいずれも上位4%以内

2020年のシャープレシオは2.46となり、類似ファンド分類平均を1.92上回った。類似ファンド分類内では、好配当株式ファンドやSRI指数連動型などに対して優位となり、上位4%(282本中第9位)の優れた運用の効率性となった。また、類似ファンド分類内に属するESG型ファンド29本の中でも第1位となっている。

2020年のトータルリターンは74.05%となり、参考指数を65.00%、類似ファンド分類平均を60.25%上回った。類似ファンド分類内に属する7割弱のファンドのトータルリターンがプラスとなる中、上位3%(282本中第8位)となり、ESG型ファンドの中でも第1位となっている。対参考指数では、個別銘柄では米国の『テスラ』、日本の『エムスリー』などがプラスに寄与した。2020年の月次のトータルリターンをみると、12カ月中9カ月でプラスとなり、11カ月で類似ファンド分類平均を上回っている。

ESGの視点で独自性の高いポートフォリオを構築、株式市場の上昇・下落いずれの局面でも優位

当ファンドの2020年12月末時点におけるテーマ別投資比率は、「医療・生活の質向上」が38.3%、「環境・資源の保護」が31.5%、「平等な社会・教育の実現」が25.1%などとなっている。例えば、新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン授業を受けられた若者の比率が高所得国よりも低所得国の方が低かったことから、今後の「平等な社会・教育の実現」のために、半導体製造メーカーなどに注目している。同月末時点における国別構成比率の上位は、米国が45.6%、デンマークが7.3%、日本が6.7%などで、参考指数との比較では米国などをアンダーウェイトする一方で、デンマークなどをオーバーウェイトしており、特徴的なポートフォリオが構築されている。

設定(2019年6月)来の3カ月トータルリターンの推移(ローリングリターン)をみると、2020年12月までの過去16カ月のうち、13カ月でプラスとなり、15カ月で類似ファンド分類平均を上回った。類似ファンド分類平均がプラスとなった11カ月の全てで同平均を上回っただけでなく、マイナスとなった5カ月中4カ月でも同平均を上回っており、株式市場の上昇・下落のいずれの局面においても優位な運用成績を維持している。

チーム運用で株価が5年で2倍になる潜在力を評価、米国籍ファンドは5ツ星でリターンが上位1%

ベイリー・ギフォードではスターファンドマネジャーはつくらないという方針のもと、投資先ファンドもファンドマネジャー2名、アナリスト5名の計7名によるチーム運用制となっている。ファンドマネジャーであるケイト・フォックス氏は運用・調査経験と在籍年数がいずれも18年、リー・チャン氏は同8年となっている。従前は他戦略と兼任するメンバーが含まれていたものの、2020年には専任担当者7名で構成される体制に変更を行っている。調査にあたっては、平等な社会・教育の実現、環境と資源の保護、医療・生活の質の向上、貧困層の課題解決という4つのテーマに焦点をあて、株価が5年間で2倍になる潜在成長力とその後の成長余地などを評価する。

モーニングスターの調べでは、海外籍で投資先ファンドと類似の「ポジティブ・チェンジ」戦略を採用するファンドとしては米国籍のグローバル株式ファンド(*)があり、フォックス氏とチャン氏は2017年の設定来担当しており、2020年12月末時点における過去3年間のトータルリターンは米モーニングスターカテゴリー内で上位1%の極めて優れた運用成績となり、モーニングスターレーティングでも5ツ星を獲得している。

※米国籍のグローバル株式ファンド＝「Baillie Gifford Positive Change Equities Fund」、運用成績はオールデストシェアクラス、カテゴリーは「US Fund World Large Stock」内での評価

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

「ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド『愛称:ポジティブ・チェンジ』」(以下、『ポジティブ・チェンジ』)は、日本を含む世界各国の株式等の中から、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に選別投資を行うアクティブファンドです。モーニングスターの類似ファンド分類では「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)」に属しています。

2020年のシャープレシオは類似ファンド分類ESG型でトップ

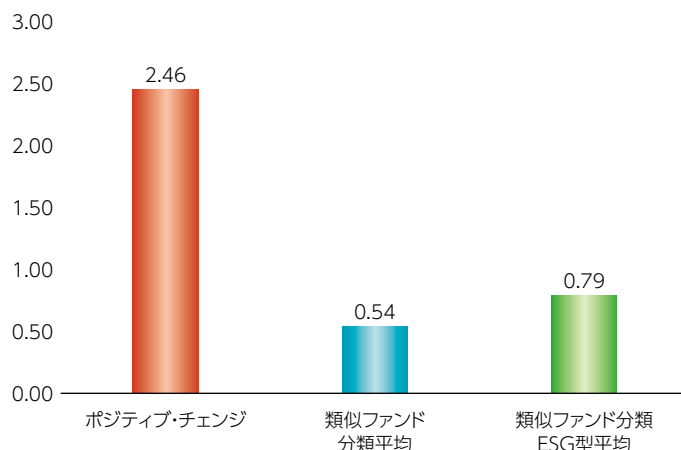
ESG投資は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance:企業統治)に配慮した投資のことです。ESG投資を実践するファンドのポートフォリオは、中長期に成長が見込まれる企業で構成されたものになると期待されます。

また、当ファンドが実践する「インパクト投資」とは、ESG投資の1つの投資手法で、社会的課題の解決(社会的利益)と投資のリターン(経済的利益)の2つの利益の獲得をめざすという特徴を持つ手法になっています。

当ファンドの2020年のシャープレシオは2.46となり、類似ファンド分類平均の0.54を1.92上回り、類似ファンド分類内で上位4%(282本中第9位)の優れた運用の効率性となりました。

また、類似ファンド分類内に属するESG型ファンド29本の中でも第1位となっています。

(図表1) 2020年のシャープレシオ



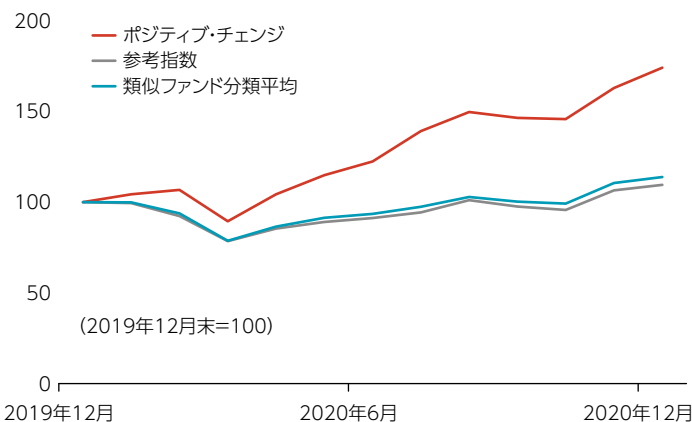
※2020年12月末時点 ※シャープレシオはリスクに見合ったリターンを得ているかを表す指標です。この数値が高いほど、運用効率が優れています。リスクを量る尺度として、標準偏差を使用します。 ※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)」 作成:モーニングスター

2020年のトータルリターンは74%超

2020年のトータルリターンは74.05%となり、参考指数(MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス)を65.00%、類似ファンド分類平均を60.25%上回りました。類似ファンド分類内に属する7割弱のファンドのトータルリターンがプラスとなる中、上位3%(282本中第8位)となり、ESG型ファンドの中でも第1位となっています。

類似ファンド分類平均のトータルリターンの推移が、概ね、参考指数の推移と同じように動く中で、当ファンドは参考指数を大幅に上回る推移となっており、そのパフォーマンスに独自のポートフォリオの効果がみとれます。

(図表2) 2020年のトータルリターンの推移



※期間:2019年12月末~2020年12月末、月次 ※参考指数=MSCI オールカンントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)、参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。 ※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)」 ※税金・手数料等を考慮していません。 作成:モーニングスター

(図表3) 類似ファンド分類内ESG型ファンドのランキング

順位	ファンド名	シャープレシオ	トータルリターン1年
1	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	2.46	74.05%
2	iTrustエコイノベーション	1.48	43.47%
3	SMT MIRAIndex エコ	1.42	43.28%
4	ピクテ・エコディスカバリー(年2回・H無)	1.46	43.04%
5	ピクテ・エコディスカバリー(毎月・H無)	1.46	42.82%
6	DWS新資源テクノロジー・ファンド	1.46	40.50%
7	イノベーション・シェアリングエコノミー	0.93	29.99%
8	楽天・ポジティブ・インパクト株式ファンド	0.76	25.42%
9	東京海上・がんたたか投信(年1回・H無)	1.40	23.50%
10	ニッセイ SDGsグローバルセレクト(年2回・H無)	1.03	21.87%

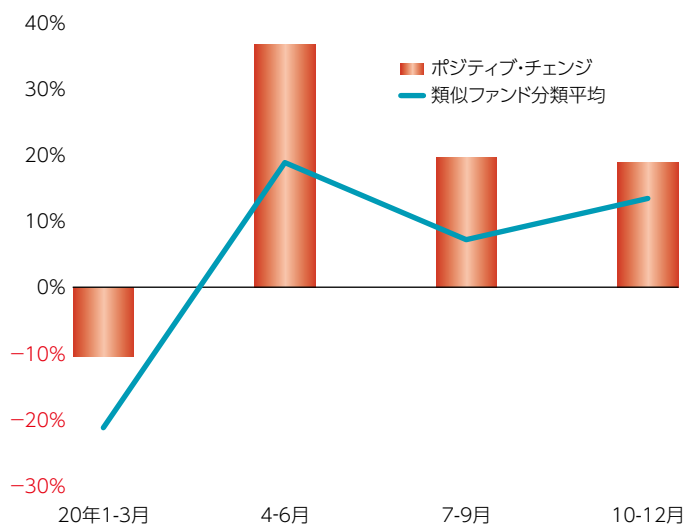
※2020年12月末時点 ※「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)・ESG型」に分類される29本を1年トータルリターンの大きい順でランキング ※税金・手数料等を考慮していません。 作成:モーニングスター

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

2020年四半期のトータルリターンは株式市場の上昇・下落いずれの局面でも優位

(図表4) 2020年四半期トータルリターン



※期間:2020年の各四半期 ※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)」 ※税金・手数料等を考慮していません。 作成:モーニングスター

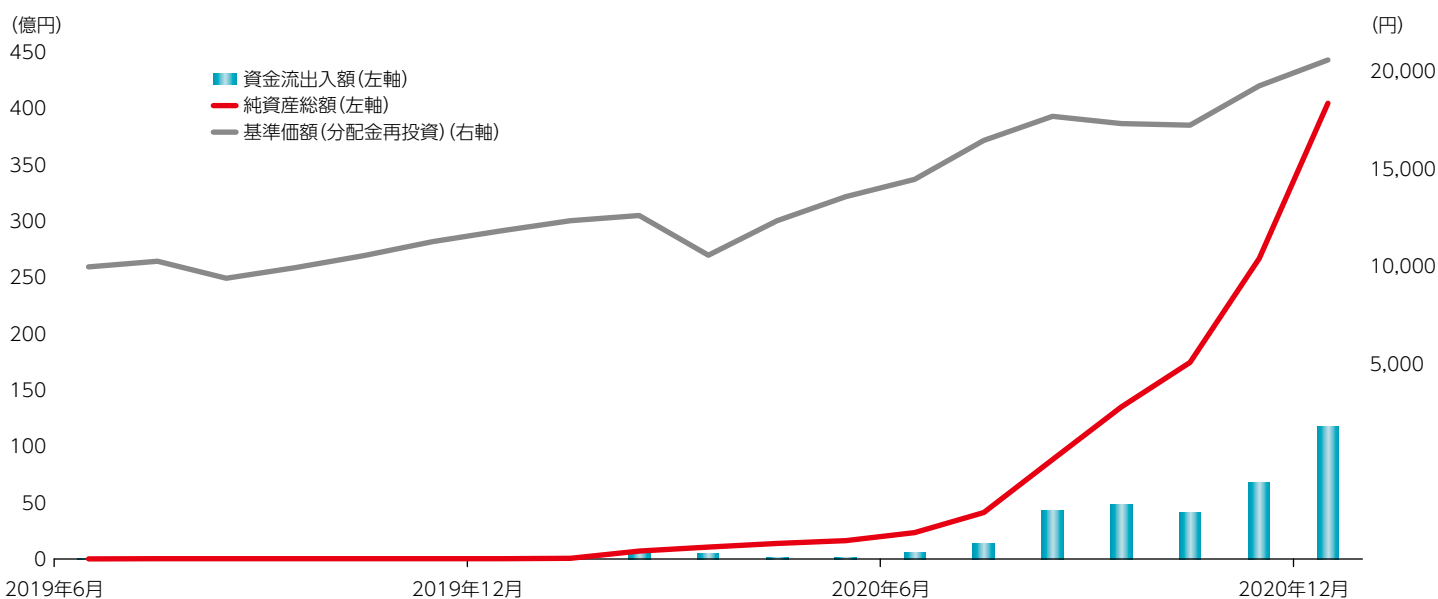
『ポジティブ・チェンジ』の2020年の四半期のトータルリターンは、2020年を通じて常に類似ファンド分類平均を上回りました。1-3月はコロナ・ショックで株価が大幅に下落しましたが、この局面では下落率が類似ファンド分類平均のマイナス21.3%に対し、当ファンドの下落率はマイナス10.6%となり、株価が反発した4-6月には類似ファンド分類平均の18.9%を大きく上回る36.8%のリターンでした。株式市場の上昇・下降の両局面で優れた成績になりました。

設定(2019年6月)来の3カ月トータルリターンの推移(ローリングリターン)でも、2020年12月までの過去16カ月のうち、13カ月でプラスとなり、15カ月で類似ファンド分類平均を上回りました。類似ファンド分類平均がプラスとなった11カ月の全てで同平均を上回っただけでなく、マイナスとなった5カ月中4カ月でも同平均を上回っており、株式市場の上昇・下落のいずれの局面においても優れた運用成績を維持しました。

コロナ・ショック後 拡大する純資産総額

2020年はコロナ禍を受けて社会的課題への関心が高まったことなどを背景に、ESGを考慮した世界へと各国の足並みが揃い始めた年となりました。同時に、投資の世界ではESG投資ファンドにも注目が集まりました。ESG投資の1つの投資手法であるインパクト投資を実践する『ポジティブ・チェンジ』は、2020年の月次純資金流入額が、12カ月全ての月でプラスとなりました。特に、コロナ・ショック時の下落率の小ささと、その後の反発局面での高いパフォーマンスが確認できた(図表4参照)7月以降に純資金流入額が増加し、2020年12月末時点で純資産総額は404億円まで拡大しました。

(図表5) 設定来の基準価額と純資産総額、純資金流入額(月次)



※期間:2019年6月末~2020年12月末、月次 ※基準価額(分配金再投資)は、1万口当たり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。 ※信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。 ※基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 ※税金・手数料等を考慮していません。 作成:モーニングスター

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

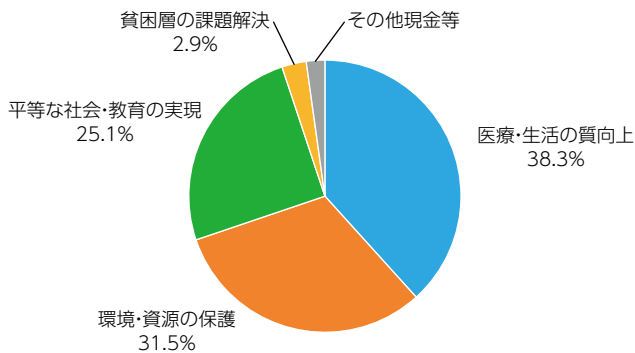
※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

分かりやすい「インパクト・テーマ」の設定

『ポジティブ・チェンジ』は、持続可能な世界の構築に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす「インパクト・テーマ」に沿って、投資機会を発掘しています。2020年12月末現在の投資テーマは「平等な社会・教育の実現」「環境・資源の保護」「医療・生活の質向上」「貧困層の課題解決」です。

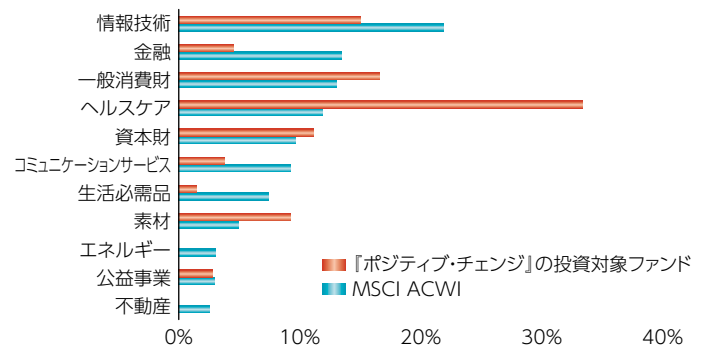
同時点におけるテーマ別投資比率は、「医療・生活の質向上」が38.3%、「環境・資源の保護」が31.5%等となっています。『ポジティブ・チェンジ』の投資対象ファンドと参考指数であるMSCI オールカントリー・ワールド インデックス(ACWI)の構成銘柄の業種別構成比率を比較すると大きな違いがあります。運用チームが投資に値すると判断した銘柄を積み上げた結果、特徴的なポートフォリオが構築されていることが分かります。

(図表6) テーマ別投資比率



※2020年12月末時点 ※投資テーマは、将来変更する可能性があります。また、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。 ※投資比率は、当ファンドの投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。 作成:モーニングスター

(図表7) 業種別構成比率



※2020年12月末時点 ※参考指数:MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。 作成:モーニングスター

選び抜かれた厳選銘柄でポートフォリオを構築

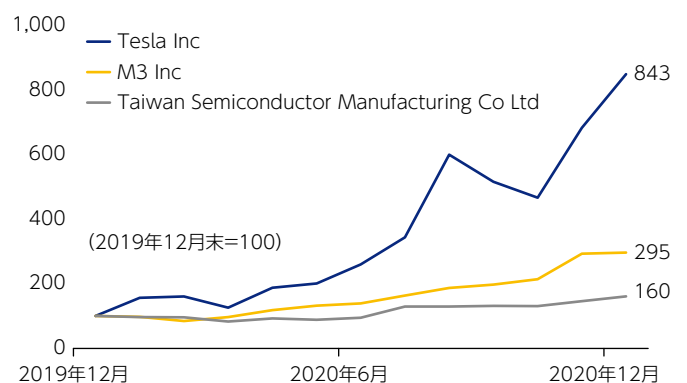
ベイリー・ギフォード社の運用哲学は、長期の視点で成長を見込む銘柄については、一時的に株価が下落しても保有を続けるという粘り強い「長期投資」を特徴としています。そのため、銘柄選定が鍵となります。当ファンドでは、2020年12月末時点で32銘柄に厳選した投資を行っています。2020年においては、組入銘柄筆頭の米国『テスラ』は1年間で8.43倍、日本の『エムスリー』は2.95倍、台湾の『TSMC』は1.6倍に株価が値上がりしました。

(図表8) 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	テーマ	組入比率
1	TESLA INC	アメリカ	環境・資源の保護	9.6%
2	M3 INC	日本	医療・生活の質向上	6.7%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	平等な社会・教育の実現	6.1%
4	ASML HOLDING NV	オランダ	平等な社会・教育の実現	5.6%
5	MERCADOLIBRE INC	ブラジル	平等な社会・教育の実現	5.4%
6	MODERNA INC	アメリカ	医療・生活の質向上	4.5%
7	ILLUMINA INC	アメリカ	医療・生活の質向上	4.3%
8	DEXCOM INC	アメリカ	医療・生活の質向上	3.9%
9	NIBE INDUSTRIES AB-B SHS	スウェーデン	環境・資源の保護	3.2%
10	UMICORE	ベルギー	環境・資源の保護	3.2%

※2020年12月末時点 ※投資比率は、当ファンドの投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。 ※国・地域・テーマは、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。 作成:モーニングスター

(図表9) 組入上位3銘柄の株価推移



※期間:2019年12月末～2020年12月末、月次 ※上記は当ファンドの理解を深めていただくため、投資対象ファンドにおける組入上位3銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。 ※組入上位3銘柄は2020年12月末基準 ※税金・手数料等を考慮していません。 ※株価は現地通貨建て 作成:モーニングスター

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

「長期投資」が生み出す運用力

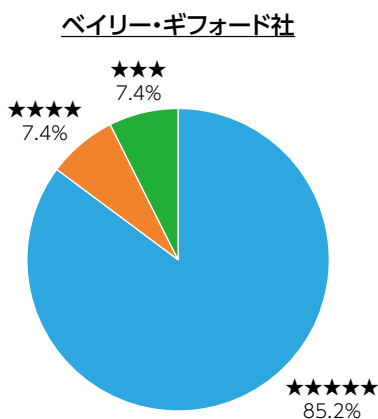
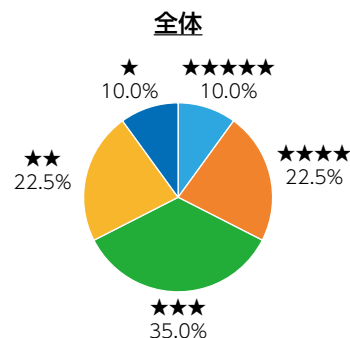
ベイリー・ギフォード社は、イギリス・スコットランドの首都エディンバラを本拠地に「長期投資」という投資哲学を100年以上貫いてきた運用会社です。従業員をパートナーとしたパートナーシップ制の会社形態で経営され、外部株主の短期的な利益の追求圧力を受けない経営を行っています。運用スタイルは個別企業の徹底的な調査と議論にもとづきポートフォリオを構築する銘柄本位のアクティブ運用一筋で行ってきました。また、スターファンドマネジャーはつくらないという方針のもと、チームで運用します。

同社が運用する欧州籍株式型アクティブファンドのモーニングスターレーティング(5段階の★で投資信託の運用成績を評価)は、レーティングが付与されている27ファンドのうち85.2%の23本が5ツ星で、2ツ星以下はありませんでした。

また、長期投資が求められる米国のカリフォルニア州職員退職年金基金(CalPERS)や日本の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)など世界有数の年金の運用も受託しています。
※CalPERSおよびGPIFによるベイリー・ギフォード社のサービスに対する肯定的あるいは否定的な見解を意味するものではありません。

『ポジティブ・チェンジ』の投資先ファンドは、ファンドマネジャー2名、アナリスト5名の専任担当者計7名によるチームが担当しています。持続可能な社会の実現には長い視点で取り組む必要があります。当ファンドはこうした社会的課題解決に必要とされる姿勢と同社の「長期投資」の理念が合致し誕生しました。ベイリー・ギフォード社ではインパクト・テーマに沿って、株価が5年間で2倍になる潜在成長力とその後の成長余地などを評価しています。

(図表10) 欧州籍株式型アクティブファンドのモーニングスターレーティング分布比較



※2020年12月末時点 ※上段:レーティングが付与された欧州籍オープンエンド株式型アクティブファンド(オルデストシェアクラス)。下段:同カテゴリのうち、ベイリー・ギフォード社が運用するファンド。 ※上記は、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドへの評価を示したものではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。 作成:モーニングスター

ポジティブ・チェンジ戦略を活用する米国籍ファンドは5ツ星でリターンが上位1%

モーニングスターの調べでは、ベイリー・ギフォード社が運用する海外籍で投資先ファンドと類似の「ポジティブ・チェンジ」戦略を採用するファンドとしては英国籍や米国籍等のグローバル株式ファンド(*)があります。2020年12月末時点における過去3年間のトータルリターンは、英国籍ファンドは英モーニングスターカテゴリー内で上位2%、米国籍ファンドは米モーニングスターカテゴリー内で上位1%の優れた運用成績となり、モーニングスターレーティングでも5ツ星を獲得しています。

(※)英国籍のファンド=[Baillie Gifford Positive Change Fund]、米国籍のファンド=[Baillie Gifford Positive Change Equities Fund]、運用成績はオルデストシェアクラス、純資産総額は各シェアクラスの合計値、カテゴリーは英国籍が「EAA Fund Global Large-Cap Growth Equity」、米国籍は「US Fund World Large Stock」内での評価

(図表11) ベイリー・ギフォード社の英国・米国籍のポジティブ・チェンジ戦略を採用するファンド

ファンド名	国籍	純資産総額	MSレーティング	トータルリターン1年	トータルリターン3年(年率)
Baillie Gifford Positive Change Fund	英国	19.95億英ポンド	5	85.82%	34.14%
Baillie Gifford Positive Change Equities Fund	米国	0.96億米ドル	5	88.43%	34.72%

※2020年12月末時点 ※運用成績はオルデストシェアクラス、純資産総額は各シェアクラスの合計値 作成:モーニングスター

※上記は、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績を示したものではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(愛称:ポジティブ・チェンジ)

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。
ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。 株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・ リスク	ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。
したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日 ・上記の銀行の休業日が2営業日以上連続する場合、その連続休業日の直前4営業日間 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2039年6月24日まで(2019年6月17日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。
決算日	毎年6月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。 税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率1.4630%(税抜 年率1.3300%) をかけた額
	投資対象とする 投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に対して 年率1.5180%程度(税抜 年率1.3850%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資 信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の 処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に
ファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが
負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

販売会社情報一覧

ファンド名称:ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(愛称:ポジティブ・チェンジ)

商号	登録番号等		日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社富山銀行(4月26日から取扱開始)	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
西日本シティ銀行証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第175号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(2021年4月19日現在)

三菱UFJ国際投信からの留意事項

- 当資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の
内容を必ずご確認ください。
- 当資料中面に記載された記事は、モーニングスター株式会社が作成したものです。また当資料における内容は作成時点のものであり今後予告なく変更される
場合があります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた
投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。